

夏休み愛知用水探検ツアー

令和元年7月26日（金）、東郷町の親子25名を対象に、水源地である牧尾ダムを訪問する「愛知用水探検ツアー」を実施しました。「愛知池の水がどこから来るのか」をテーマに、水源地に感謝するとともに愛知用水を身近に感じてもらうことを目的として行いました。

一行はバスに揺られ、途中バス車内で愛知用水の歴史について紙芝居を通して学んだり、木曽川の流れを車窓から眺めたりしながら長野県王滝村にある松原スポーツ公園に到着しました。

松原スポーツ公園では、やまのこ学校協議会山下氏よりクイズ形式で、楽しみながら村の説明を受けていました。

その後、やまのこ学校協議会の指導のもと、どんぐりの棒パン焼き体験をし、各々パン生地をのばし、棒に巻き付けて炭火で焼きました。棒パンが焦げないようにきつね色に焼き、おいしく頂いていました。

牧尾ダムでは、水資源機構の職員より牧尾ダムの説明を受けました。親子ともに写真をとったり質問したりしながら、真剣に話を聞いて見たこともないような施設には興味津々に見入っている様子でした。

子ども達が楽しみにしていたボート巡視体験は、先日の豪雨の影響で流木が湖内に大量に流れ込んだため中止になり、白樺のコースター作りを行いました。

帰りのバスではビンゴ大会をおこない、子どもたちは大盛り上がりでゲームに参加していました。今後も愛知用水について親子で学べる機会を作り、水土里ネット愛知用水をPRしていけたらと思います。



王滝村の説明



コースター作り



記念撮影



牧尾ダムの説明